

日本学術会議第一部 社会学委員会 ジェンダー研究分科会（第24期・第7回）
分科会議事録

日時：2020年1月24日（金）

14:00～16:00 社会学委員会ジェンダー政策分科会との合同会議

16:00～16:20 ジェンダー研究分科会だけの会議

場所：日本学術会議 6A-（1）会議室

出席者：ジェンダー研究分科会 9名

遠藤薫（委員長）、海妻径子（副委員長）、柘植あづみ（幹事）、伊藤公雄、大沢真理、木本喜美子、小浜正子、本田由紀、船橋恵子

出席者：ジェンダー政策分科会 11名

本田由紀（委員長）、伊藤公雄（副委員長）、木本喜美子（幹事）、伊田久美子、遠藤薫、後藤弘子、加野芳正、糠塚康江、安井眞奈美、安河内恵子、谷口洋幸

※下線のある4名は両分科会に所属する委員

司会進行：本田、遠藤

記録：木本（ジェンダー政策分科会）、柘植（ジェンダー研究分科会）

（1） 前回議事録の確認

各分科会の議事録が確認され、承認された。

（2） 3分科会合同提出の提言（案）についての審議

法学委員会ジェンダー法学分科会・社会学委員会ジェンダー政策分科会・社会学委員会ジェンダー研究分科会合同で提出する提言「同意の有無」を中核に置く刑法改正に向けて一性暴力に対する国際人権基準の反映」（案）が示され、主旨説明がなされた後、案の修正等について審議を行った。

以下は、ジェンダー研究分科会のみ

（3） 男女共同参画委員会との共同の意思の表出について

伊藤委員から男女共同参画委員会が学術分野での男女共同参画に関する提言案を検討しているため、ジェンダー研究分科会がこれに協力するなどの検討をすることについて提案がなされた。1月27日の男女共同参画委員会の結果を伊藤委員から報告していただき、

メール審議を行うことが承認された。

(4) ジェンダー研究分科会の意思の表出について

「持続的安定的な「学術の再生産」のために一学術関連・支援職の待遇改善に関する提言」(案)に関して、今期は提言等の意思の発出ではなく、学術会議に「記録」として提出し、次期に検討を繰り越すことが承認された。

(5) その他

3月末までにもう一回、ジェンダー研究分科会を開催して、現在、示されている「持続的安定的な「学術の再生産」のために一学術関連・支援職の待遇改善に関する提言」(案)について検討することが承認された。

以上